

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-1 道路網の整備と維持管理

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 道路建設課長 井田 悦男 電話番号 0852-22-6456

事務事業の名称	渋滞を解消するための幹線道路の整備	
目的	(1) 対象	県民・市街地周辺の道路利用者
	(2) 意図	渋滞を解消し、目的地へのスムーズな移動を実現します。
事業概要	・渋滞を解消するため幹線道路を整備する。	

## 2. 成果参考指標

(1) 指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		8.00	8.00	6.00	
実績値	渋滞ポイント数-渋滞ポイント解消数	9.00	8.00	6.00	5.00			
達成率			100.00	125.00	83.40		%	
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00		
実績値	0.00	0.00	0.00					
達成率			0.00	0.00			%	

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b)(千円)	497,805	812,882
うち一般財源(千円)	50	1,843

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・松江だんだん道路の完成により当初の指標目標値は達成している。  
 ・現在は松江市街地の混雑緩和のため国道432号古志原工区を重点整備している。  
 ・平成27年3月に山陰道浜田三隅道路（原井IC～西村IC間）の開通により国道9号から約3～4割の交通流動が図られ、渋滞ポイントであった熱田交差点の渋滞が解消されたと判断する。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

山陰道浜田三隅道路（原井IC～西村IC間）の開通により熱田交差点をはじめとする浜田市内国道9号の交通渋滞が解消されたと見込める。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」  
 現在整備中の箇所については、多数の地権者で大量の物件補償が必要だが、用地担当職員が不足しており用地買収の進捗が遅れている。

②困っている状況が発生している「原因」  
 所内の人員配置では必要な職員数が確保できない。

③原因を解消するための「課題」  
 県内部での事業量に応じた人員配置の検討

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

事務所ごとの実情を把握し柔軟な人員配置に努める。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）

・平成25年1月に島根県幹線道路協議会交通渋滞対策部会において、最新データ検証による主要渋滞箇所5箇所が公表された。渋滞の定義等も見直され、今後は本部会において対策を議論することになる。